

家畜ふんたい肥の特性評価システム

平成12年、13年と普及センターより集められた県内家畜ふんたい肥の成分・外観品質や発芽試験結果などの情報をもとに、たい肥を総合的に評価するシステムを開発した。

図1 「家畜ふんたい肥特性評価システム」画面

「家畜ふんたい肥特性評価システム」は、データ入力部（画面左側）とたい肥の特性表示部（画面右側）から構成されている。たい肥生産者の氏名・外観品質の評価得点・成分分析値等を入力することにより以下の特性が評価できる。

外観評価の得点から、たい肥の熟度（完熟・中熟・未熟）を判定する。

たい肥の成分分析値から、養分バランスをグラフ表示する。また、県内の各畜種（牛・豚・鶏）のたい肥の平均値との比較ができる。

外観評価の得点、たい肥の成分分析値から使用上の注意点で該当するものに赤色の印を表示する。

たい肥の成分分析値から、たい肥1トンあたりの有効成分（化学肥料相当）量を算出し、たい肥の化学肥料代替利用の目安を示す。

本システムは、農業改良普及センターで利用可能である。